

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2022年度（2023年3月期） 第2四半期

1. 決算概要
 - 1-1. 2022年度 第2四半期決算
 - 1-2. セグメント別実績
 - 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
 - 1-4. セグメント情報詳細
2. 2022年度業績見通し
 - 2-1. 2022年度業績予想
 - 2-2. 2022年度セグメント別見通し
 - 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）
 - 2-4. セグメント情報詳細

1. 決算概要

1-1. 2022年度 第2四半期決算

単位：百万円

	2022年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	275,621	195,329	+80,291	+41.1%
海外売上高比率	25.0%	20.0%	+5.0P	-
営業利益	9,436	6,284	+3,152	+50.2%
売上高営業利益率	3.4%	3.2%	+0.2P	-
経常利益	9,895	7,171	+2,723	+38.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,784	5,298	+2,486	+46.9%

1-2. セグメント別実績

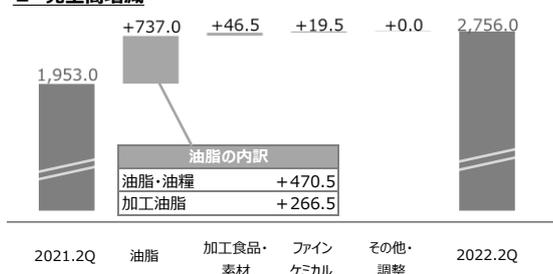
単位：百万円

	2022年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	275,621	195,329	+80,291	+41.1%
油脂	233,714	160,022	+73,691	+46.1%
油脂・油糧	170,311	123,269	+47,041	+38.2%
加工油脂	63,403	36,752	+26,650	+72.5%
加工食品・素材	30,366	25,739	+4,627	+18.0%
ファインケミカル	10,234	8,265	+1,968	+23.8%
その他・調整	1,306	1,302	+4	+0.3%
営業利益	9,436	6,284	+3,152	+50.2%
油脂	8,809	5,096	+3,713	+72.9%
油脂・油糧	4,188	2,607	+1,581	+60.6%
加工油脂	4,621	2,489	+2,132	+85.7%
加工食品・素材	56	630	△573	△91.0%
ファインケミカル	848	787	+60	+7.7%
その他・調整	△278	△230	△47	-

1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

- 油脂
 - 原料コスト上昇を受けた販売価格の改定(↑)
 - ホームユース製品の販売数量増(↑)
 - ミールの販売数量増および販売価格の上昇(↑)
 - 海外子会社の為替換算影響(↑)
- 加工食品・素材
 - チョコレート製品の販売数量増および子会社における為替換算影響(↑)
 - MCT製品の販売価格の改定(↑)
 - 大豆素材・食品製品の販売価格の改定(↑)
- ファインケミカル
 - 原料コスト上昇に伴う販売価格の改定(↑)
 - アルコール製剤の販売数量増(↑)

<営業利益増減要因>

- 油脂
 - 油脂・油糧および加工油脂における原料コストの上昇(↓)
 - 原料コスト上昇を受けた販売価格の改定(↑)
 - パーム油取引の時価評価益の増加(↑)
 - 海外子会社の為替換算影響(↑)
- 加工食品・素材
 - チョコレート製品における原価率の上昇および調製品の販売数量減(↓)
 - ドレッシング等、調味料における販管費の増加(↓)
 - MCT製品の原料コスト上昇および販管費の増加(↓)
- ファインケミカル
 - 販売価格の改定および欧州子会社の販売数量増(↑)
 - 原料コストの上昇および新工場稼働に伴う減価償却費負担増(↓)
 - 衛生製品における原料コスト上昇(↓)

1-4. セグメント情報詳細

単位：百万円
増減額は前年同期比

油脂（うち油脂・油種）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
国内油脂	100,594	+30,460	+1,393	・原料コスト高騰等に伴う油脂販売価格の改定、ホームユース製品の販売数量増、ミール販売における数量増および価格上昇により増収増益。
業務用・加工用	64,293	+21,854		
ホームユース	36,301	+8,606		
ミール	52,287	+13,978		
子会社	41,503	+7,480	+192	
連結調整 他	△24,075	△4,878	△4	
油脂・油種 計	170,311	+47,041	+1,581	

※業務用・加工用およびホームユースの売上高は、国内油脂売上高の内数

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
17%	+1,265

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.0	業務用・加工用（+0.0）、ホームユース（+3.0）
販売単価要因	+286.5	業務用・加工用（+215.0）、ホームユース（+71.5）
コスト要因	△261.0	
大豆	△67.0	C&F（△80.5）、為替（△67.5）、ミール販売（+81.0）
菜種	△148.0	C&F（△134.5）、為替（△46.0）、ミール販売（+32.5）
その他商品・製造費	△46.0	パーム油等のコスト上昇 等
販管費・その他	△14.5	
合計	+14.0	

単位：百万円
増減額は前年同期比

油脂（うち加工油脂）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
海外加工油脂	68,656	+31,583	+2,505	・販売価格の上昇および為替換算影響により増収。 ・原料コストの上昇による減益要因があったが、チョコレート用油脂の販売数量増、販売単価上昇に加えて、パーム油取引の時価評価（当期+25.5億円、前期+20.5億円）、為替換算影響により増益。
欧州	28,539	+14,232		
アジア	35,684	+15,311		
その他地域	4,432	+2,039		
国内加工油脂	6,169	+1,580	△430	・販売価格の改定により増収も、原価上昇により減益
連結調整 他	△11,421	△6,513	+56	
加工油脂 計	63,403	+26,650	+2,132	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率（増減率は前年同期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	△3%
欧州	△8%
アジア	+0%
その他地域	△0%

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
36%	+16%

単位：百万円
増減額は前年同期比

加工食品・素材

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	15,206	+2,577	△192	・海外子会社の為替影響等により増収も、原価率の上昇により減益
調味料	2,353	+56	△31	・販売価格改定により増収も、販管費の増加により減益
機能素材・食品	3,838	+363	△258	・MCTの販売価格改定により増収も、原料コストの上昇および販管費の増加により減益
MCT	2,952	+424		
大豆素材・食品	10,733	+1,756	△75	・販売価格改定により増収も、原料コストの上昇等により減益
連結調整 他	△1,765	△126	△15	
加工食品・素材 計	30,366	+4,627	△573	

※MCTの売上高は機能素材・食品売上高の内数

単位：百万円
増減額は前年同期比

ファインケミカル

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	8,483	+2,444	+183	・販売価格の改定および子会社における販売数量増により増収増益
環境・衛生	3,558	+118	△64	・販売数量増も、原材料価格の高騰により増収減益
連結調整 他	△1,807	△594	△57	
ファインケミカル 計	10,234	+1,968	+60	

※化粧品原料の売上高はファインケミカル製品売上高の内数

補足：化粧品原料

売上高	増減額
5,009	+1,352

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2021年度第2四半期	109.81	130.88	26.32	16.99	0.0076
2022年度第2四半期	134.03	138.76	30.36	19.89	0.0091

2. 2022年度業績見通し

2-1. 2022年度業績予想

単位：百万円

	2022年度 見直し①	2021年度 実績②	前期比		2022年度 当初計画③	当初計画比	
			増減額	増減率		増減額 (①-③)	増減率
売上高	500,000	432,778	+67,221	+15.5%	500,000	-	-
営業利益	13,000	11,670	+1,329	+11.4%	13,000	-	-
経常利益	13,300	12,648	+651	+5.1%	13,300	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,200	8,595	+604	+7.0%	9,200	-	-

2-2. 2022年度セグメント別見通し

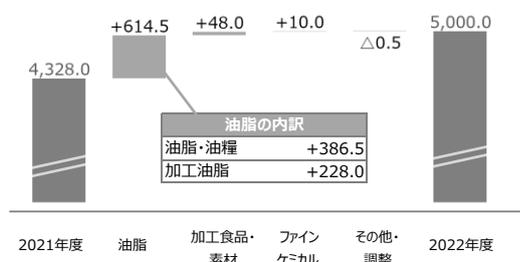
単位：百万円

	2022年度 見直し①	2021年度 実績②	前期比		2022年度 当初計画③	当初計画比	
			増減額 (①-②)	増減率		増減額 (①-③)	増減率
売上高	500,000	432,778	+67,221	+15.5%	500,000	-	-
油脂	416,500	355,026	+61,473	+17.3%	414,500	+2,000	+0.5%
油脂・油種	306,500	267,840	+38,659	+14.4%	306,500	-	-
加工油脂	110,000	87,186	+22,813	+26.2%	108,000	+2,000	+1.9%
加工食品・素材	63,000	58,185	+4,814	+8.3%	65,000	△2,000	△3.1%
ファインケミカル	18,000	17,003	+996	+5.9%	18,000	-	-
その他・調整	2,500	2,563	△63	△2.5%	2,500	-	-
営業利益	13,000	11,670	+1,329	+11.4%	13,000	-	-
油脂	11,800	8,975	+2,824	+31.5%	11,050	+750	+6.8%
油脂・油種	8,400	4,716	+3,683	+78.1%	8,400	-	-
加工油脂	3,400	4,258	△858	△20.2%	2,650	+750	+28.3%
加工食品・素材	500	1,672	△1,172	△70.1%	1,200	△700	△58.3%
ファインケミカル	1,200	1,336	△136	△10.2%	1,150	+50	+4.3%
その他・調整	△500	△314	△185	-	△400	△100	-

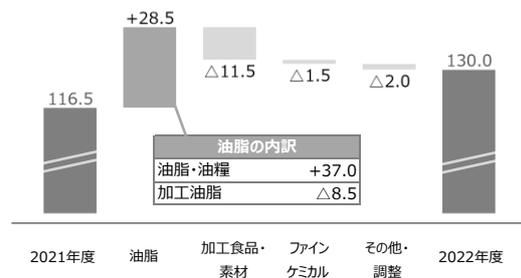
2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見直し (対前期比)

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

- 油脂
 - ・原料コスト上昇を受けた油脂販売価格の改定(↑)
 - ・ホームユース製品の販売数量増(↑)
 - ・ミールの販売数量増および販売価格の上昇(↑)
 - ・海外子会社の為替換算影響(↑)
- 加工食品・素材
 - ・チョコレート製品の販売数量増および海外子会社の為替換算影響(↑)
 - ・MCT製品の販売数量増および販売価格の改定(↑)
 - ・大豆素材・食品製品の販売価格の改定(↑)
- ファインケミカル
 - ・原料コスト上昇に伴う販売価格の改定(↑)
 - ・衛生製品における高機能製品の販売数量減(↓)

<営業利益増減要因>

- 油脂
 - ・油脂・油種および加工油脂における原料コストの上昇(↓)
 - ・原料コスト上昇を受けた販売価格の改定(↑)
 - ・パーム油取引の時価評価益の減少(↓)
 - ・海外子会社の為替換算影響(↑)
- 加工食品・素材
 - ・チョコレート製品における原価率の上昇および調製品の販売数量減(↓)
 - ・原料コスト上昇に伴うMCT製品、大豆関連製品における原価上昇(↓)
 - ・調味料およびMCT製品における販管費の増加(↓)
- ファインケミカル
 - ・原料コスト上昇に伴うファインケミカル製品の原価上昇(↓)
 - ・新工場稼働に伴う減価償却費負担増(↓)
 - ・衛生製品における原料コスト上昇(↓)

2-4. セグメント情報詳細

単位：百万円
増減額は前年同期比

油脂（うち油脂・油種）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	見通し	増減額		
国内油脂	214,241	+56,068	+3,867	・原料コスト高騰等に伴う油脂販売価格の改定、ホームユース製品の販売数量増、ミール販売における数量増および価格上昇により増収増益。
業務用・加工用	136,312	+38,284		
ホームユース	77,929	+17,784		
ミール	106,917	+28,645		
子会社	81,070	+8,512	△152	
連結調整 他	△95,729	△54,567	△31	
油脂・油種 計	306,500	+38,659	+3,683	

※業務用・加工用およびホームユースの売上高は、国内油脂売上高の内数

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
16%	+3,629

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+6.5	業務用・加工用（+0.0）、ホームユース（+6.5）
販売単価要因	+525.0	業務用・加工用（+378.5）、ホームユース（+146.5）
コスト要因	△461.5	
大豆	△122.5	C&F（△127.0）、為替（△181.0）、ミール販売（+185.5）
菜種	△199.0	C&F（△134.0）、為替（△135.5）、ミール販売（+70.5）
その他商品・製造費	△140.0	パーム油等のコスト上昇 等
販管費・その他	△31.5	
合計	+38.5	

単位：百万円
増減額は前年同期比

油脂（うち加工油脂）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	見通し	増減額		
海外加工油脂	114,376	+26,455	△597	・販売価格の上昇および為替換算影響により増収。 ・チョコレート用油脂の販売数量増、販売単価上昇等により実質的な増益を見込むが、パーム油取引の時価評価（当期+5億円、前期+27億円）の影響が大きく、減益。
欧州	45,110	+12,180		
アジア	59,404	+9,283		
その他地域	9,861	+4,991		
国内加工油脂	13,608	+3,671	△252	・販売価格の改定により増収も、原価上昇により減益
連結調整 他	△17,985	△7,314	△7	
加工油脂 計	110,000	+22,813	△858	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率
（増減率は前年同期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	△6%
欧州	△21%
アジア	△2%
その他地域	+70%

補足：海外加工油脂に占める
チョコレート用油脂を中心とした
スペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
37%	+13%

単位：百万円
増減額は前年同期比

加工食品・素材

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	見通し	増減額		
チョコレート	34,668	+4,784	△288	・チョコレート製品の販売数量増により増収も、原価率上昇により減益
調味料	4,766	+344	△13	・販売価格改定により増収も、販管費の増加により減益
機能素材・食品	8,702	+1,687	△545	・MCTの販売数量増と販売価格改定により増収も、原料コストの上昇および販管費の増加により減益
MCT	6,701	+1,554		
大豆素材・食品	24,628	+4,556	△301	・販売価格改定により増収も、原料コストの上昇等により減益
連結調整 他	△9,764	△6,557	△23	
加工食品・素材 計	63,000	+4,814	△1,172	

※MCTの売上高は機能素材・食品売上高の内数

単位：百万円
増減額は前年同期比

ファインケミカル

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	見通し	増減額		
ファインケミカル製品	16,709	+4,169	+22	・原料コスト上昇の影響はあるが、販売価格改定により増収増益
環境・衛生	6,833	△191	△107	・高機能製品の販売数量減と原材料価格高騰により減収減益
連結調整 他	△5,543	△2,981	△51	
ファインケミカル 計	18,000	+996	△136	

※化粧品原料の売上高はファインケミカル製品売上高の内数

補足：化粧品原料

売上高	増減額
10,406	+2,584

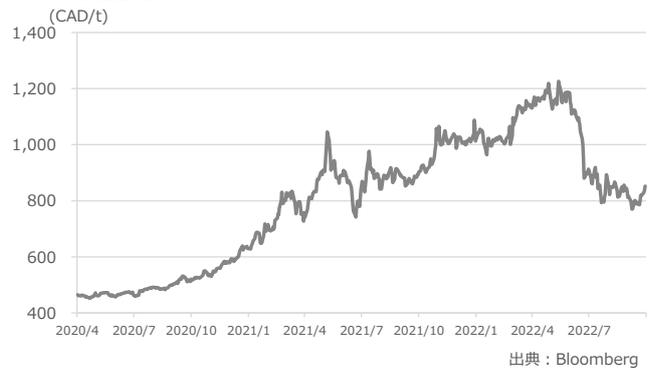
主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2021年度	112.39	130.55	26.52	17.51	0.0078
2022年度	135.24	139.23	30.45	19.95	0.0091

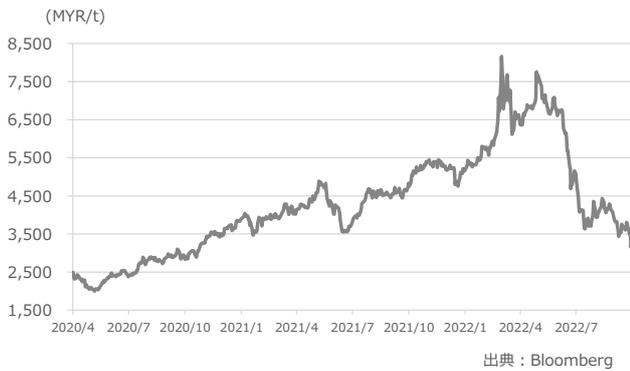
■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



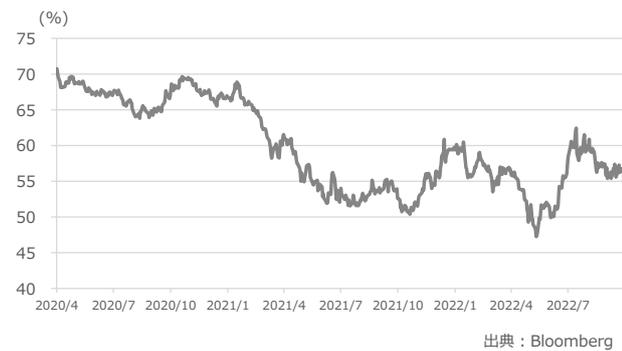
■ パーム原油相場



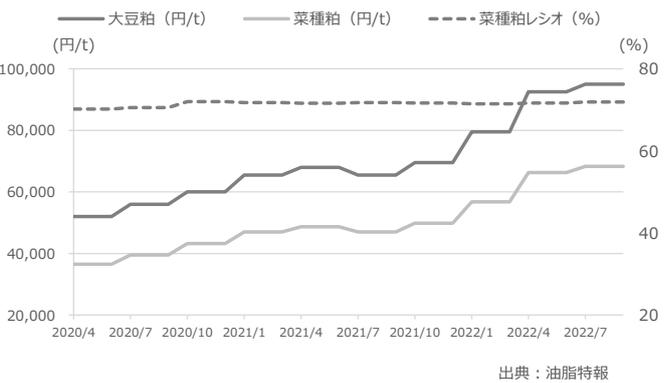
■ 為替相場 (円/ドル)



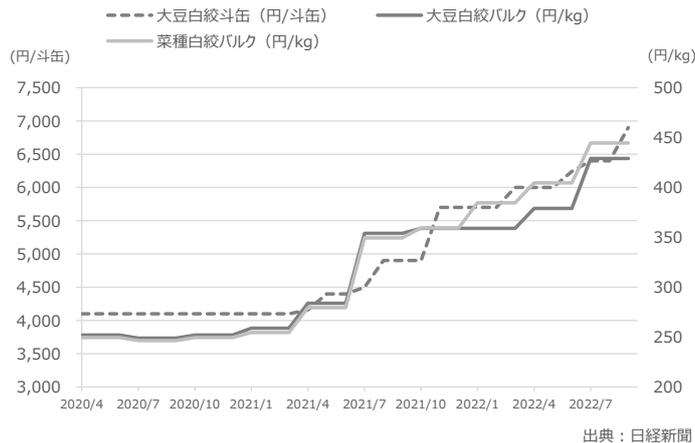
■ ミールバリュー推移



■ ミール業界平均価格

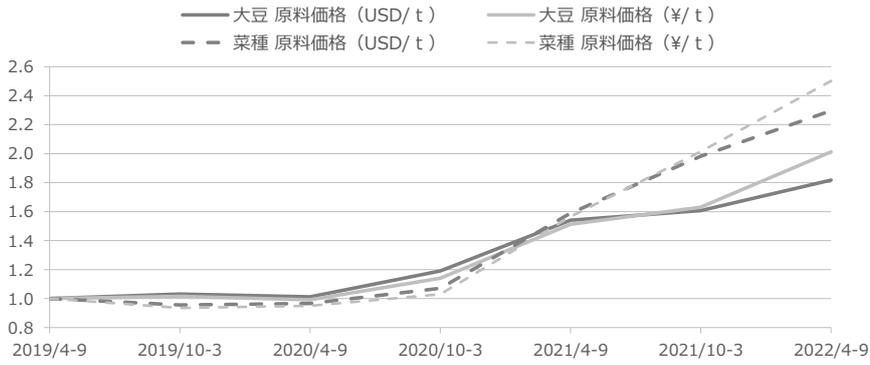


■ 日経市中相場 (業務用斗缶)

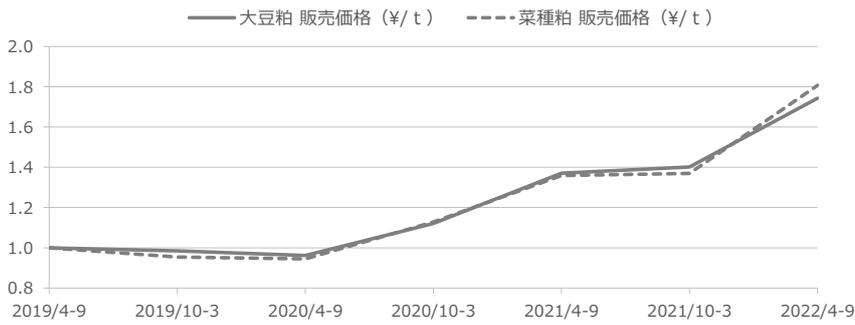


※2019年4-9期を1とした指数
出典：日清オイリオグループ(株)の数値

■ 原料（大豆・菜種）



■ 油粕（大豆・菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格（ギフトを除く、加重平均単価）

